

史資料から読み解く「学校の世紀」ー現代教育への示唆ー

アメリカの校舎・教室の変貌と授業時間割の改革 ー子ども中心は実現したかー

2025年

12月9日(火)10:40~12:10

会場:神戸大学鶴甲第2キャンパス A427

講演者

宮本健市郎

(関西学院大学名誉教授)

司会者

中山瑠美・村上優佳

企画趣旨

19世紀後半から20世紀前半におけるアメリカでは、子ども中心を標榜する進歩主義教育運動が萌芽し、従来の画一的なものとは異なる教育実践が様々に模索されていた。本企画では、「史資料から読み解く『学校の世紀』」シリーズの第1弾として、『空間と時間の教育史』(東信堂)を著した宮本健市郎氏を招き、学校建築と授業時間割という宮本氏独自の視点から、子どもの経験した空間と時間の実態とその変貌を読み解く。それにより、これまでに学校が果たした役割を検討しつつ、現代の学校教育研究や学校教育改革についての議論を深めていく。

対象

大学生・大学院生

企画・運営

神戸大学人間発達環境学研究科 学術weeks
川地亜弥子(教授)・渡邊隆信(教授)・山下晃一(教授)
大部慎之佑(博士課程後期課程)・中山瑠美(博士課程前期課程)
村上優佳(博士課程前期課程)・森阪祐貴(博士課程前期課程)

申込はこちら▶

締切:12月8日(月)

※参加希望の方は右のQRより
所属研究室、氏名等の入力をお願い致します。
※お申込み時に入力いただいた
個人情報、本イベントの運営の
目的のみに使用いたします。

